

F ワーク②——言葉のネットワーク

F-1 ねらい

- ▶性格を表現するときの言葉を増やすことで、自己表現に関するボキャブラリーを豊かにする。
- ▶同じような意味をもつ言葉と反対の意味をもつ言葉をグループで探求していくことで、自分では気がつかないような言葉のネットワークを知る。
- ▶グループ内で言葉のネットワークを共有することにより、性格を理解するときに重視するポイントが人それぞれに異なることを理解する。

F-2 使用するもの

- ▶アドバイスシート……本人のもの。
- ▶ワークシート……1人1枚用意。7ページをコピーして使用。ワークシートのデータは弊社のサイトからダウンロード可能（1ページの目次の下を参照）。記入スペースが小さい場合は、別に白紙を用意するとよい。
- ▶色ペン……グループの人数の分だけ異なる色を用意しておくといよい。

F-3 展開に必要な時間

約30分を目安としている。

F-4 ワークの形式

このワークは、グループ（3～4人）で行うことを想定している。また、グループのメンバーどうしについて、面識の有無や交友関係は問わない。

ワークシートをお互いに見せ合うことになるので、相手が書いたことを肯定的にとらえるようにあらかじめ注意しておく。

F-5 評価のポイント

ここでは、社会的・職業的に自立するために必要な基盤となる能力である「基礎的・汎用的能力」の観点別に評価のポイントを示す（基礎的・汎用的能力の詳細はWebなどで確認してほしい）。

◆人間形成・社会形成能力◆

相手が理解しやすいように言葉を付け加えたり、ネットワークの線を書き加えたりすることができたか。

◆自己理解・自己管理能力◆

自分を表現する言葉が否定的なものに偏ることなく、肯定的な表現からも自分をとらえることができたか。

◆課題対応能力◆

言葉が出にくいときでも、アドバイスシートなどを参考にしながら積極的にワークに取り組むことができたか。

◆キャリアプランニング能力◆

自分をアピールしたり自己表現をしたりする場面を思い浮かべながらワークに取り組むことができたか。

F-6 展 開

◆導入◆（目安時間：5分）

性格を表現する言葉のネットワークを視覚的に確認していくことで自分自身を表現する言葉が豊かになっていくことを、図を用いて説明する。その際、以下のような点にふれるとよいだろう。

- ▶単に「明るい性格」といっても、そこには多様な意味が含まれており、どのような明るさなのかを伝えるためにはたくさんの言葉が必要となる。
- ▶同じような意味の言葉ではなく、反対の意味の言葉を探していくと、より深く言葉の意味を理解できるようになり、自分の性格を説明するときに役立つ。
- ▶グループでネットワークをつくっていくことで、自分では気づかなかったような言葉の関係性を知ることにつながる。

◆ワーク◆（目安時間：20分）

手順①でつくるグループの人数は3～4人程度とする。人数は多くなりすぎないほうがよいだろう。

手順②では、グループ内で同じような言葉を取りあげるのではなく、言葉が重複しないようにグループ内で話し合う。また、単に「優柔性」という言葉だけではイメージしにくい場合は、「高い優柔性」のように段階の表現を加えて記入させるとイメージしやすくなるだろう。

手順③は個人ごとのワークとなる。反対の意味の言葉をつなぐときは、わかりやすいように両側に矢尻（←→）をつけてつなぐことをあらためて説明する。言葉を記入するときには、否定的な表現ばかりにならないように注意を促すとよいだろう。

手順④では、ワークシートをグループ内で交換し、新しく言葉を記入したり、実線や矢印を新たに追加したりする。使用する色を人によって変えておくと、違いがわかりやすくなるだろう。グループ内ですべてのワークシートを交換するようにする。

手順⑤では、お互いのワークシートを見せ合いながら、実線や矢印がいちばん多かった言葉、言葉のネットワークがいちばん複雑になったものなどについて、グループ内で意見交換をさせる。

◆まとめ◆（目安時間：5分）

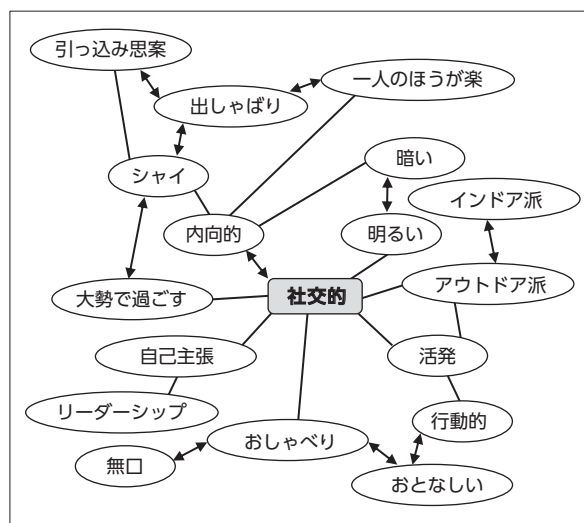
性格に関する1つの言葉を説明するときでさえ、いろいろな側面が含まれていることをあらためて説明する。また、その表現方法も人によってさまざまなものがあることも強調する。時間があれば、ワークに取り組んだ感想を述べさせたりしてもよいだろう。この言葉のネットワークは相手に自分のことを説明するときの表現として使えることにもふれ、自分を説明する言葉をこれからも豊かにしていく必要があることも強調しておく。

氏 名	取り組んだ日	年	月	日
-----	--------	---	---	---

同じあるいは似たような意味の言葉と、反対あるいは逆の意味をもつ言葉をつなげていくと、言葉と言葉がネットワークのように広がっていきます。

右の図は、「社交的」という言葉を中心とした言葉のネットワークの例です。「社交的」に対して、「明るい」は似たような言葉であり、「内向的」は反対の意味と考えられます。また、右の図では、「社交的」と「アウトドア派」、「社交的」と「自己主張」をつなげていますが、このつながりが思い浮かばない人もいます。言葉のネットワークは人によってさまざまな形をしています。

言葉のネットワークを広げることは、自分自身を表現する言葉を豊かにすることにつながります。ここでは、GETの中から好きな言葉を取りあげ、他の人の意見も取り入れながら、言葉のネットワークを広げていくワークをしていきましょう。



- 手順① 3～4人でグループをつくってください。このワークシート以外に、アドバイスシート、色ペンを用意してください。記入スペースが小さい場合は適当な用紙を用意してください。
- 手順② GETで示された8つの性格から1つを選び、下記の枠内の中央部分に記入してください。グループ内で言葉が重複しないように、話し合いながら言葉を選びましょう。なお、言葉のネットワークが広がりにくいようであれば、「高い外向性」のように段階の表現を書き加えてみましょう（GETの自分の結果と違ってかまいません）。
- 手順③ 最初は自分だけで言葉のネットワークを広げていきましょう。同じような意味の場合は実線、反対の意味の場合は矢印で枠をつなげていきます。言葉が出てこない場合は、アドバイスシートのコメントを参考にしてみましょう。
- 手順④ グループ内でワークシートを交換し、別の人のネットワークに言葉を付け加えたり、実線や矢印を書き加えたりしていきましょう。記入する人によって色を使い分けると見やすいでしょう。
- 手順⑤ グループ内でワークシートの交換が終わったら、できあがった「言葉のネットワーク」について、言葉の数、実線や矢印の数の多さや広がりなどの視点からグループ内で意見交換をしましょう。

